

KQ-1600 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・京急新1000系1600番台
本キットは、トレーラー車専用です。
動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

！ 注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【バックグリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット(標準仕様)】

- ・ヘッドライトユニット : 1個/セット
- ・テールライトユニット(兼通過標識灯ユニット) : 1個/セット
- ・ヘッドライトユニット用スペーサー : 1個/セット

【ライトユニット(前面幕点灯付き)】

- ・ヘッドライトユニット(兼前面幕ユニット) : 1個/セット
- ・テールライトユニット(兼通過標識灯ユニット) : 1個/セット
- ・ヘッドライトユニット用スペーサー : 1個/セット
- ・前面幕用レンズ(透明PETフロック) : 1個/セット
- ・前面幕用ツバ(黒ブラ板) : 1枚/セット

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

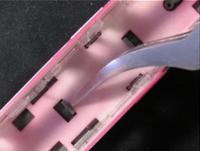
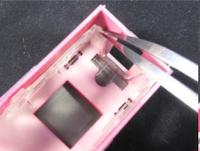
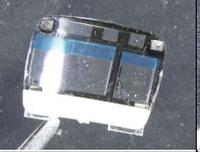
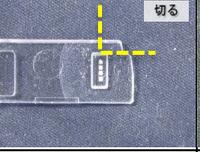
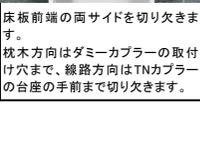
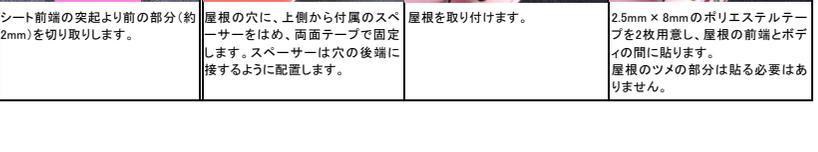
※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパー
- ・プラスチックドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(プッシュピンなども可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

●取り付け手順

※網かけの項目は、前面幕点灯付きの場合に必要な項目です。

1. 分解する				
1-1 床板を外す	1-2 屋根を外す	1-3 側窓を外す	1-4 前面透明パーツを外す	
				
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	天井中央のツメを楊枝などで押し、屋根を外します。	まず連結面の窓ガラスを外します。	次いで側窓を外します。	前面透明パーツを外します。
2. 車体を加工する				
(1-4つづき)				
2-1 前面透明パーツを加工する				
				
前面窓下辺中央に固定用のツメがあるので、外側から押し込んで外します。	前面透明パーツを、前面窓下端とテールライトレンズの中間で切断します。	前面透明パーツ裏側のヘッドライトの円柱状の突起を、0.5mmに切り詰めます。	前面透明パーツ裏側のヘッドライトの四角い隆起の側面及び周辺、前面窓より上側の前面透明パーツの断面を、黒の塗料で遮光します。	テールライトレンズの縁の部分、及びパーツの断面を、表側から黒の塗料で遮光します。
2-2 ボディを加工する(前面幕も点灯させる場合)				
				
前面幕部分のボディを切り欠きます。幅11.5mm、高さは前面透明パーツの凹み一杯までの長方形に切り欠きます。	切り欠きの断面、前面透明パーツの凹みの断面を、黒の塗料で塗装します。	ボディ内側のヘッドライト周辺を、黒の塗料で遮光します。	側窓前上部を、乗務員扉窓の中央まで、四角にカットします。	スカート両サイドのツメをカットします。床板には取り付けできなくなりますので、ゴム系接着剤を使って、ボディに取り付けます。
2-3 ヘッドライト周辺の遮光				
2-4 側窓を加工する				
2-5 スカートを加工する				
3. 床板を加工する				
3-1 床板を加工する	3-2 シートを加工する			
				
床板前縁の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取り付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。	シート前縁の突起より前の部分(約2mm)を切り取ります。			
4. ライトユニットを取り付ける				
4-1 屋根の穴を塞ぐ	4-2 屋根を取り付け、遮光する			
				
屋根の穴に、上側から付属のスペーサーをはめ、両面テープで固定します。スペーサーは穴の後端に接するように配置します。	屋根を取り付けます。			
	2.5mm×8mmのポリエステルテープを2枚用意し、屋根の前縁とボディの間に貼ります。屋根のツメの部分は貼る必要はありません。			

4-3 ヘッドライトユニットの取付					4-4 前面幕レンズを作成する(前面幕も点灯させる場合)				
ヘッドライトユニットを両面テープで取付けます。試験点灯し、ボディのヘッドライトの穴とLEDの光源が一致していることを確認します。一致していない場合は、両面テープを重ね貼りし、高さを調整します。		2mm × 15mmのポリエステルテープを2枚用意し、前面幕レンズの上下に貼ります。		はみ出した部分は、前面幕レンズの形に切り落とします。		好みの前面幕シールを切り出し、3片を切り分けず、前面幕レンズに貼ります。		1.7mm(タテ) × 1.5mm(ヨコ)のポリエステルテープを2枚用意し、前面幕の空白部分に貼って、遮光します。	

4-4 前面幕レンズを取り付ける(前面幕も点灯させる場合)		4-5 前面窓を取り付ける		4-6 前面幕用ツバの取付		4-7 ヘッドライト下面の遮光	
前面幕レンズのヘッドライトユニットに接する面に両面テープを貼り、ヘッドライトユニットに貼ります。		前面窓を取り付けます。上部が浮く場合は、前面幕の上側に両面テープ片を貼って固定します。		前面幕も点灯する場合、前面幕用ツバを、前面幕レンズの下面、前面窓に当たるように、両面テープで貼ります。		3.5mm × 18mmのポリエステルテープを用意し、ヘッドライトユニットの下面に貼ります。	

(4-7つづき)				4-5 テールライトユニットを取り付ける				5. 配線する					
ヘッドライトの裏側部分は、切り込みを入れ折り曲げます。		1.0mm × 1.5mmのポリエステルテープを用意し、テールライトレンズの裏側から、テールライトと通過標識灯の仕切りを覆うように貼ります。		テールライトユニットのタテのリップに両面テープ片を貼り、テールライトレンズを取り付けます。		テールライトレンズの余白に両面テープを貼り、テールライトユニットを取り付けます。		本紙のアルミテープ型紙を点線に沿って切り抜き、マスキングテープを使って、アルミテープの上に貼ります。カッターで、4片のアルミテープを切り出します。		5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る			

(5-1つづき)		5-2 ヘッドライトへ配線する		5-3 テールライトへ配線する	
側窓ガラスの下側、床板と嵌合するツメの上に、アルミテープを載せます。ツメの先端からはみ出たテープは、裏側に折り曲げます。側窓の前後左右4箇所のツメの上に載せます。		側窓を車体にはめ、アルミテープの左右に広がった部分を車体に貼り付けます。		1.5mm × 約25mmのアルミテープで、ヘッドライトユニットの給電パッドから側窓下まで配線します。余ったテープは切り捨てます。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	
		ヘッドライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3mm × 5mmのアルミテープを重ね貼ります。		1.5mm × 10mmのアルミテープで、テールライトユニットの給電パッドから側窓下まで配線します。	
		※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。		※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	

(5-3つづき)		5-4 側窓下の配線の接続		5-5 側窓下をアルミテープで結ぶ	
テールライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、4mm × 4mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。		5-1のツメ部分のアルミテープ、5-2、5-3のライトユニットのアルミテープを接続するために、3mm × 15mmのアルミテープを貼り重ねます。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。		3mm × 63mmのアルミテープを2本用意し、前後のツメの間を結ぶように貼ります。中央のツメは下側を通します。	

●室内灯を取り付ける場合

1. ツメをカットする

屋根の固定用ツメをカットします。

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る

乗務員室仕切り 型紙

0.5mmのプラ板でパーツを作ります。
(遮光に遮った黒いプラ板を分売しています)

1. 仕切りを取付ける

乗務員室仕切りを、シートの乗務員室の突起に、両面テープを使って貼ります。

